

令和7年度 第1回 江府町図書館協議会

日時:令和7年8月23日(月) 午前10時~12時

場所:愛ベルこうふ(江府町防災・情報センター)2階 研修室

(会議出席者)

【委員】10名(欠席者0名)

会長:前川二三夫 副会長:松田暢子

委員:加藤邦樹、篠村知子、高橋慎太郎、竹田真知子、長尾英俊、橋谷久美、松本潤、
山本育朗

【事務局】7名(欠席者2名)

教育課:田本丈一

図書館:(館長)宇田川恵理

(職員)梅林恵理、加持谷智子、徳田なつき、松本幸江、道下三知子

※委員、職員は五十音順

(開会)

(報告)

1 辞令交付及び役員選出

(館長)委員長、副委員長の選出について、事務局から提案する。委員長を前川さんに、副委員長を松田さんをお願いしたい。

(会長)2年間よろしくお願いしたい。協議会が再開したときから委員をしている。公募されていたので応募したら採用されたが、応募者が1人でがっかりした。この地域は積極的に関わることが少ないように感じている。ぶつかりあうのではなく、意見を出し合う会になったらと期待する。

2 報告

(会長)資料は読み込んで出席していると思う。資料そのままの読み上げではなく、ポイントを絞って報告してほしい。

○令和6年度江府町立図書館活動報告

・令和6年度図書館資料

(館長)資料に沿って報告する。受入資料について、一般の資料が前年に比べて多くなった。顕著なのが AV(視聴覚資料)。CDの寄贈を町民に呼びかけたところ、新着の9割に上る寄贈が集まった。また、寄贈等購入外の冊数が多いのは、様々な個人、団体からの協力による。

・令和6年度利用状況

(館長)「年齢毎利用者数」の項目を見ると、大人の利用が多くなっている。子どもの利用が減っているが、大人は増えている。資料の充実とともに、他館との相互貸借も増えている。

・令和6年度図書館の現況

(館長)役場と福祉センターへそれぞれ月2回程度出張する、「まちかど図書館」を継続している。

貸出冊数は伸び悩んでいるが、仕事関連の利用につながればと思う。始めて3年目なので、もう少し長い目で見たい。

図書館イベントについて。「おいしいお米を食べる会」と書いてあるのは、地域団体との協力イベント。今年度は2回開催を検討している。「本屋大賞予想大会」など、地域の方に参加していただくイベントを増やしたい。

展示について。

(事務局)他団体との協力展示が多かった。

(館長)地域おこし協力隊のイベントもある。

(事務局)昨年度、地域おこし協力隊として行った、地域の講師を招いたイベントを報告する。珈琲講座、アイシングクッキー講座、ボードゲーム大会、絵本とおもちゃ講演会を開催した。

(会長)ここまで何か質問があれば。

(事務局)今日は教育委員会からも来ている。資料の5ページ、6ページについて、教育委員会展示と図書館展示はコラボしていないのか。スペースの問題でできないこともある。今図書館で開催している「昭和100年展」もすばらしい。図書館での展示が役場へ行く、またその逆もあるのか、これから先にも考えているのか、お聞きしたい。

(館長)今のところは考えていない。将来的にコラボするのであれば、期間を決めて、公民館と連携することは考えたい。しかし、図書館では年間のスケジュールがかなり埋まっている。やるのであれば、今後検討していく。

・令和6年度までの利用実績の推移

(委員)統計を見ると、「貸出人数」とある。延べ人数で出したものと思うが、実数はあるか。

(館長)今持っていない。あとで出す。

(館長)18歳以下の利用が落ち、年齢が高いほうは伸びている。以上が図書館からの報告。

(会長)ここまでで何かあれば。

(委員)令和6年の開館日数が減っているのは？

(館長)この年から、毎週月曜日の閉館日を追加した。

(会長)前回の協議会で確認した。ほかには。

(委員)18歳以下の貸し出しが減っているが、人口も減っているのでは。

(館長)人口も減っているが、ここまで顕著な減りではなく、人口だけの問題ではないのではと思う。特に高校生の利用が低い。立地条件上、駅から遠い。高校生はバスの利用が少なく、どうしたものかというところ。

(会長)今の件についてどうか。

(副会長)日野町でも同様に、出生率が減っている。全体が減れば貸し出しが減るのも仕方ないが、学校の利用率は増えているようだ。江府町が良いのは、ここからバスに乗るところ。動線としてやり方はある。高校生に対しても、まなびや縁側もある。保育園の貸し出しはどうか。

(会長)学校の貸し出しは増えているとのこと。

(館長)学校図書館については、次に報告する。保育園については、事業計画の中でお話する。

(会長)利用実績の推移について。自分のような移住者にとっては、安心して行ける場所が図書館だった。最初に作った利用者カードは南部町で、江府町では借りたい本がなかった。閉館日がなく、職員数が少なく、資料費が少なかった。新しい委員も、過去の状態を知った上で現状を見て、これからを考えてほしい。この場で要望してきたことで、資料費、人員について

も増えてきた。以前は町立図書館と学校図書館に行っていて、学校の様子もわかりやすかった。今はどうなのか。地域おこし協力隊も得ながら、少しずつ変わってきている。きちっと議論して運営に生かしていく場にできれば。これまでの議論を記録として資料にすることはできないか。

(館長)これまでの議事録をまとめたものを、資料にしたいということか。

(会長)議事録とまではいなくても。

(副会長)これまでの流れをまとめ、配布しなくても、公開したらよいのでは。

(会長)昨年、傍聴者を受け入れることになり、議事録も公開されることになった。以後理解してもらえたら。

(委員)今回の資料では、それがわからない。協議会の規約はないのか。

(会長)協議会開催要項がある。

(館長)公開等についての明記はない。例規集の中に、協議会を置くという記述があり、細かい要項はない。

(委員)昨年のことを、新委員の自分たちは知らない。去年承認されたからといって、今年もそうなるとは限らない。前回は踏襲するのではなく、今回のことを考えたい。

(会長)議事録、会議をオープンにという形になっているが、納得できないということか。

(館長)のちほど、協議の時間がある。いったん報告を聞いていただきたい。

○奥大山江府学園図書館活動報告

・ブナの森校舎

(事務局)イベントがあるときは図書館にも来るが、天気の良い日は遊びに行くので貸し出しは少ない。授業時間の利用があるので、誰も借りない日はない。

・日野川校舎

(事務局)学習センター、情報センターとして、ICT活用、教育の活用ができているかという点、少し弱い。

新聞記事を使うことが多い。地元記事は収集している。修学旅行に向けて万博の記事を集めるなど。日々の授業活用等に対応する間に、新聞記事の整頓が遅れてしまいがち。

本は面白い、図書館って楽しいと伝えられるよう日々邁進している。

(会長)学校について、何かあれば。

(委員)自分も昨年まで学校司書をしていた。イベント時は来るが、普段は同じ子しか来ないという状態はよくわかる。学校側の意識として、外で元気に遊ぼうという気持ちはあるだろう。ずっと室内にいる子が増えた方がいいのか？学校側はどうなのか。

(委員)学校図書館でのイベント時も全員が行くわけではない。朝読書をしたり、学級文庫を設置したり、そこで読んで戻す場合は貸し出し冊数にはならない。5月に運動会を移動したので、ますます貸し出しが少ない。先生の呼びかけを増やし、貸し出しにつなげたい。小さいうちから本に触れる機会を増やさなければと思う。朝読書について以前は、マンガはだめ、図鑑はだめ、としていたが、現在それでは読む本が本当にない、という子がいる。

(委員)保護者目線では、休憩時間には外に出て遊んでほしい気持ちはある。雨の日、帰宅後の夜に本を読むような読書習慣をつけてほしい。日野川校舎では休憩にわっと外へ出ることはないので、本を読んでほしいと思う。中学生の頃に出会った本は大切なものにできる。日

野川校舎の利用が少ないのは、保護者としては寂しい。

(会長)保護者の気持ちは、そのとおりだと思う。多い、少ないというものの見方もどうなのか。質の問題もあるのでは。

(副会長)前回の協議会で、日野川校舎の朝読書がなくなったと聞いたが、その後はどうなったのか。

(事務局)朝読書という時間はないが、静かに座る時間がある。読書もして良いという時間。学級文庫、読み聞かせはない。

(委員)読み聞かせボランティアとして、日野川校舎に行かなくなったさみしさはある。落ち着いて読む子もいると聞いて、小さい頃から良い本に出合う機会を増やす大切さを思う。

(会長)図書館としてできるのは本の展示か。どういうふうに見せるのかがプロとしての仕事か。ほかにご意見は。

(委員)ブナの森校舎のイベントについて、どんなものか。

(事務局)「図書館探偵」は、クイズのようなもの。どんな本がどこにあるのか探すゲーム。「色別対抗図書館大会」は、学校の異年齢グループで、本の貸し出し冊数分の球を入れる、ゲーム感覚の大会。

(委員)勝ったら何かあるのか。

(委員)トロフィーがある。

(館長)さきほど図書館の人員について話があったので、補足を。図書館から1名ずつ選任の司書を出している。学校図書館では貸出だけでなく、図書館内の整備、授業支援、情報提供の支援が重要な仕事となる。学校と町立の行き来があったところの方が、学校の様子がよくわかったと言われたが、図書館側にも担当者がいて連絡を取り合っている。

(会長)分析の数値がしっかり出ていたのが良かった。

3 協議

〇令和7年度図書館事業計画について

(館長)事業計画について。ミニマムというのがうちの強み。例えば資料配置を変更したり、名前を付けたスペースを作ったり。小さいことをいかに変えていくか。CDの利用について、高齢者の利用が見込める。若い世代が子ども向けCDを借りることも。保育園に、図書館のコーナーを設置した。読み聞かせグループとの連携も考えている。高齢者で免許返納などあれば図書館を利用できなくなるので、宅配サービスを開始した。広報していく。音声データについても活用する。郷土資料の収集と保存・提供として、行政資料をプリントアウトし紙で確認できるようにする。学校司書からの要望を聞き、やり方を変えていっている。

(事務局)学校の活動と連携し、作成物を展示するなど行っている。

(館長)引き続き、イベントについて。

(事務局)イベント開催の報告にも記載している、図書館まつりのマルシェ。昨年大変好評だったため、今年も企画中。

(事務局)地元の講師による、大人対象の講座も計画中。

(館長)地域住民とつながるのが大切。現在開催中の「昭和100年展」は、住民から借りたものを展示している。

(事務局)地域情報の掲示について。地域のものを集めて掲示している。時折、「これを置いて

ほしい」という要望も。

(館長)住民の役に立つ場所になれば。

(会長)「ミニマムでありながら」という表現、良いと思う。高齢者の支援としてはどう思うか。

(委員)高齢者が本を読んでいるという意識がなかった。データを見れば、こんなにも読んでいるのかと驚いた。子どもたちはこれから本に親しんでいく、高齢者はこれから本が読めなくなっていく。離れていかないようなことをしてもらいたい。また、メンバーが代わっていく中で要項がないのは困るだろう。

(会長)大活字の本など、高齢者はけっこう読んでいる。高齢者でなくても、いろいろな支援がある。行政資料の充実はこの会から実現した。

(委員)ミニマムというが、図書館の部分を拡大する野望などないか。予算書はあるが、決算書はないとのことだが、何年分置くのか。決算書については役場との関係とは思うが、どのくらい資料が見れるのか知りたい。

(館長)以前、自主防災室を図書館とする考えもあったが、公民館機能として難しい。

(委員)増設という考えは。

(館長)人口の増加が見込めれば考えるが、今は考えていない。施設を増やすより、スポットを増やすことで図書館を活用することを考えている。保存年数については、キャパによるため検討中。決算書については、総務課に確認する。今のところ決算書公開の予定がないと言われているので、交渉していく。

(会長)役場としては保存年数が決まっているのでは。

(教育課)保存年数は長く、スペースの問題もある。

(会長)住民が行政資料に触れる機会がなければ、意見もなかなか出せないのでは。

(館長)保育園との連携について、園長から。

(委員)保育園の中で、子育てに関する本を読んでほしいよねという意見が出たのが、図書館コーナーの発端。本を借りる習慣があれば図書館にも行くのではと。対面ではなく、手書きで貸し出しカードを書くという簡単なもの。利用はそこそこあるようだ。忙しくて図書館に行くこともできないだろうなと思い、送り迎えのついでに借りられるよう、設置した。コーナーを見ている人がいれば、リクエストも受け付けられることを伝えるなどしている。

(副会長)良いと思う。日野町の保育園でも、資料コードでの貸し出しができるようになった。たまに図書館から、親子向けの出張もしている。

○江府町立図書館のあり方について

(館長)情報交換を考えていたが、さきほどあった議事録について協議をしたい。以前の議事録も公開されていたが、委員に図って公開したものではなかった。昨年の公開に関しては、委員の承諾を得たものだった。要項のような形での記載はしていない。傍聴についても同様。傍聴のルールについては、次回の協議会ではかることにする。

(会長)教育委員会に傍聴のルールがすでにある。それに則してということでよいのでは。今回は、議事録について決める。

(委員)昨年の議事録は公開済みと。自分も反対というわけではない。

(委員)私も公開には賛成。しかし、ここだけで決められることなのか。教育委員会のルールをおさえる必要はないのか。

- (委員)公開することについては良いと思うが、そもそも誰に向けての公開なのか。
- (教育課)公開、傍聴の前提は、町民に広く知らせるということ。今まで教育委員会として見込んでいなかったのが、みなさんの意見を踏まえて要項に入れていくという形でよいかと。
- (会長)傍聴、議事録の公開を前提に委員を受け入れるのが良い。隠す必要もないなら、公開すればよいだろう。
- (館長)では、公開するという方向で準備をする。
- (館長)ここまで事業計画など聞いて、こういうことがあってもいいのではということなどあれば。
- (委員)学校司書への負担はあるかと思うが、利用しない中学生へ、ビブリオバトルは有効では。ビブリオバトルでの紹介本を玄関に展示するのも、実体験として盛り上がった。
- (会長)自分は本を読まない子どもだった。読めとばかり言われるのも辛いだろう。読まない選択もある。
- (委員)江府町の図書館はいつも楽しい。地域と一緒に運営しようという思いが、移住者にも伝われば。事業計画をこの会で紹介するのも良いが、江府町の未来計画の中に図書館の話も入れて、みんなが使う場所になれば。
- (会長)総合計画に図書館のことが組み込まれている。今でも教育委員会の下の下の下くらいには入っているだろうが、図書館を根幹に考えても良いのでは。
- (委員)みんなに知らせることが大切。
- (事務局)読まない選択もあるという話について。読まない、だけではなく「読めない」、「何が読めるかわからない」という子もいる。そういう子にどうアプローチするかが自分たちの仕事でもある。
- (会長)本を読むと気分が悪くなる病気があるが、朗読CDは聞けるそう。読めないという問題があるのなら、「読むことが正しくて、そうでないのは間違っている」というふうに見られないのは、子どもにとってもありがたいのでは。図書館として住民に本を借りてもらえば良いというだけでなく、住民の状態がどうかを把握して対応するのが大事な仕事だと思う。
- (委員)学校運営協議会の中に、健全育成協議会がある。毎年何をすれば良いか悩むので、図書館に相談しても良いかもしれない。利用者としては、借りたときに一覧が欲しい。
- (館長)希望されたらレシートで出せる。掲示しておきたい。

4 その他

- (館長)去年は広島へ視察に行った。今年度は、県内の東部・中部の図書館を巡る予定にしている。協議会の委員さんにも希望を取り、一緒に行きたい。
- (会長)図書館の館長や司書へ意見を言うことで、いろんな形で反映してもらえる。協議会だけではなく、日常的にも言ってもらえたら。

(閉 会)